

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・今月もたばこの売上が前年比200%以上とタスポ効果がまだ続いている。タスポは昨年6月に導入されたが、前年と比較出来るようになって、激しく落ち込むとは考えていない。この1年間で随分客が付いて、店が大きく成長した。今まで以上に積極的に仕掛け、きめ細かく対応していければ、売上はまだ伸びる。
	やや良く なっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・新学期も始まって学販の販売も終わったが、クラブ活動が始まるので、景気が悪いながらも、子どものために親も買うので、今のところとても良い。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・セール品が良く売れる。売上、来客数共に前年比で10%以上である。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・数か月前から販売量、来客数の動きが悪かった。情勢不安からお金を使うことに対し警戒が強かったが、ここに来てお金を使うことに動きが出てきている。販売量も今まで以上に上がっている。
		観光型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・今年は7年に1度の善光寺の御開帳にあたり、観光客の入込が例年より増加傾向にある。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・今月は宿泊者数が前年同月を上回ることが出来た。メディアによる取上げや、近隣の大規模なイベントによる影響が大きい。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・7、8月以降の先行予約も開始している状況で、景気が上向いて、旅行へ行きたいというような意向が強くなっている。
		その他レジャー施設【アミューズメント】（職員）	販売量の動き	・先月当たりから客の購入、お金の使い方が戻ってきている。ゲームの景品は、ファンシー物よりはカップめんやインスタントカレーのような実用品が多くなっているという変化はあるが、客はある程度消費に向かっている。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・新しい期のスタートとなり、大型連休が入ってくるので何かと今日は忙しい。来客数も割合多いので受注につながるよう努力をしたい。
	変わらない	一般小売店【精肉】（経営者）	お客様の様子	・周辺で未完成の大型店がオープンしたが、買いたいものがあまりないという話である。
		一般小売店【家電】（経営者）	お客様の様子	・定額給付金の給付、エコポイントなど政策面での動きが出ているが、いずれも高所得者に対してであり、一般客の消費への動きは少ない。
		一般小売店【金物】（経営者）	お客様の様子	・景気はまだ非常に悪いが、いろいろな商品に対する引き合いがやや増えてきている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・食品については前年を上回り、ほぼ堅調に推移しているが、それ以上に衣料品についてのマイナスが続いており、流れは変わっていない。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・キャンペーンやセールがあった時は客は来るが、それ以外では特別大きな変動はない。
		衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・このところ来客数が非常に少ない。本来商店街は日曜祭日型で休日に客が集中するが、最近は休日になると客がほとんどない。
乗用車販売店（経営者）		販売量の動き	・車購入時の減税措置に伴い、販売台数の伸びを期待されたが、変化がない。	
乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・今まで展示会をやると必ず台数が出ていたが、今年に入ってから高額車両が全く売れない。中古車の安い車だけは動いているが、販売台数は先月より今月のほうがやや少ない。		
住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・火災警報器の設置義務化に伴う特需や高速道路料金引下げなど、動きに応じた商品の動きはあるが、全体のマイナスを埋めるには至らない。		
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・相変わらず夜の集客が激減している。昼はある程度、集客があるが、前年比では来客数が減っている。		
都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・本来なら減少するところだが同じ規模のホテルが閉店するという話で、客がこちらに流れており、変わらない。		
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・仕事の受注状態は相変わらず良くない。個人、小グループは多少動いているが、団体の動きがない。		
タクシー運転手	販売量の動き	・年明け以降景気後退感がまん延し、一般の乗客、企業関係も無駄な出費を控える傾向にある。タクシー業界は景気に左右される要素が多い。		

	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・当地域でも定額給付金の給付に合わせてプレミアム付き商品券が発行され、多くの住民が列を作り買い求めた。しかし、予想どおり食品等の生活商品購入の足しにされてしまい、それ以上の販売の拡大にはなっていない。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者は前年と同じである。
	ゴルフ場（支配人）	単価の動き	・平日ゴルフをする人が非常に少ない。周辺のコースのプレイ代値下げ競争に陥り、客単価が非常に低下している。土曜日、日曜日、祝日もその傾向に陥っている。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・施設を改修した後だが、来客数、客単価共にそれほど変化がない。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・相変わらず情報がない。この時期に建物を建てようとするのは本当に特殊とこれまでの顧客に言われている。
	住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・贈与税の話が国会で取り上げられて以来、土地購入の問い合わせが増えている。ただ、成約ベースでみるとそれほど変わりはない。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・4月は、天候に恵まれなかったこともあって、住宅展示場や現場見学会への来場者が期待したほどではなかった。景気はやや回復傾向という話も聞くが、受注量への好影響は見受けられない。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・善光寺の御開帳で、全国より観光客が来ているが、寺の周囲とホテルのみが良く、商店街は極めて悪い。商品が少々売れても、安いものだけで財布の口が固い。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街主催のさくら祭りイベントは前年比5割増しの人出があり、低価格商品取扱のフリーマーケットや食料品店が売上を伸ばした。こづかい程度で買物が出来る品物はよく売れたが、客はそれ以上の価格の品物には目もくれない。
	商店街（代表者）	来客数の動き	・近隣の食品スーパーが閉店したこともあって、今までその店を利用していた近くの住人たちも町を歩かなくなり、ますます人通りが少なくなっている。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・買い控えが感じられる。
	一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・金曜日は料理屋や居酒屋が1週間で1番忙しい日で買入れが多かったが、近隣の大企業が毎週金曜日に帰休を始めたので、金曜日が休日と同じ状態になってしまい、かなり悪くなっている。
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数が非常に少ない。地下食品や物産展等は実績を上回っているが、衣料品については非常に厳しい。
	百貨店（営業担当）	単価の動き	・1人当たりの買上、客単価が減っている。絞り込んで買うようになっている。
	スーパー（店長）	単価の動き	・1点当たりの単価が大きくダウンしている。買上点数が伸びても客単価の減少を止められないでいる。数年前のデフレの時の思い出させる現象である。
	衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・来客数は約14%増加したが、客単価が低く、販売数は昨年並みで推移している。
	家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・エコ家電購入ポイントがもらえる政策が発表されてから、商品の動き、購入に対して慎重に待っている様子が見られる。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・環境に配慮した車両は少しだけ販売量が増えているが、それ以外の車両の販売量は減少している。特に、輸入車の販売台数は落ち込みが大きく、先の見通しも不透明である。
	高級レストラン（店長）	来客数の動き	・ランチタイムのサラリーマンやOLの客の来店が極端に減少しており、前年比約半分まで落ち込んでいる。
	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・地域の中であそこだけは変わらず客が入っているとされている店まで他店と同じ状態になってきている。
	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・前年並みの売上は維持できないものの、ここに来て多少夜の消費単価が上がっている。
	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊においてビジネスマンの動きが極端に悪い。先の予約状況は、前年比20～30%の減少となっている。

	旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・法人関係については全く動きがなく、商売にならなかった。個人客は高速道路料金引下げがあったが、行く人は行く、行かない人は行かないという具合で、なかなか販売に結び付かない。
	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・ゴールデンウィークが間近であるが、3か月前よりも来客数が落ち込んでいる。また、家族旅行の受注もかなり厳しい。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・例年は、年度替わりの今ごろから、ぼつぼつ別荘を求める客の動きが見られるが、今年は低調である。消費に対する慎重な姿勢の表れである。
	ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・来客数に関しては駐車場、商業施設関係が例年と同じと思われる。ただし、客単価については昨年度よりも低下している。そのため、販売売上高が全体的に落ち込んでいる。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・わざわざ美容院に行く人が少ない時期だが、普段仕事をしている人等の来店はみられる。忙しい店と暇な店の格差が広がっている状況にある。
	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・先月同様、在庫量は前年比で1割以上増加しているが、売上は5%増加と振るわない。新車の買い控えの中、10年以上経っている乗用車の車検が5割、さらに軽自動車の車検の占める割合が35%以上と大きな変化が見られる。
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・駅前で営業しているが、高速道路料金引下げが始まってから週末の売上が3割減少している。
	一般小売店〔衣料〕（経営者）	販売量の動き	・先月同様に良くなっている気配がない。近隣の大企業の業績が悪いこと、それに伴う小売、商店の売上が悪いことは変わっていない。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・昨今の景気低迷の中にあって、比較的堅調であった食品や化粧品等の生活必需品の売上も前年実績を下回っている。
	スーパー（総務担当）	それ以外	・地域製造業は、業務縮小が続いており、現在も営業所の統合等が続いている。
	スーパー（統括）	来客数の動き	・商圏内の基幹産業である電子部門で年末と年度末に500人規模の人員削減（派遣切り、早期退職）が行われ、周辺店舗の来客数、売上に影響が出ており、チラシでの価格訴求、インプロを実施するも効果は薄い。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・プレミアム付き商品券も発行されたが、高額商品に流れたようで買回り品まで回ってこない。
	家電量販店（店長）	単価の動き	・来客数の回復は見られるが、単価が上がらない。省エネ商品購入促進策、エコポイント実施に向けての買い控えが顕著に見受けられる。
	住関連専門店（店長）	販売量の動き	・1人当たりの買上点数が減っているのと同時に、1品単価も低下している。
	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・ランチの来客数はそんなに変わらないが、ディナーの来客数が大変少なくなってきている。客単価も低い。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数の落ち込みがひどい。人は動いていてもほとんどお金を使わない状況で手の打ちようが無い。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・とにかく自分のお金を使える人が少なくなってきている。
	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・自社のみならず地域全体の数字が全月に渡り前年を下回っている。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・売上の減少に歯止めが掛からない。先が全く見えない。
	都市型ホテル（スタッフ）	競争相手の様子	・不景気の影響をもちに受けて、市内のホテルは安価な料金で販売しなくてはならなくなっている。この状況は当分の間続く。
	タクシー運転手	お客様の様子	・4月は歓迎会等で定期的に動く時期だが、歓迎会等を自粛するところが多く市街地も人通りが少ない。駅付近等では2～3時間に1回程度の営業回数になっている。
タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼間の動きは悪いながらもそれなりの動きがあるが、深夜の動きは特に悪く、前年比で20%の減少である。	
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・現在は前年度からの持ち越しの仕事を作業中であるが、客の新年度の新たな投資見込みがない。	
設計事務所（所長）	来客数の動き	・直接訪ねて来る客とまではいなくても電話での照会や相談も無い。	

		住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・最近電話等の問い合わせがあるのは、全て家賃の値下げ交渉である。新規に出店してくる貸し店舗、貸事務所は全くない。また土地の引き合いも全くない。ただ安い家賃のものはインターネット上で引き合いがある。かなり便乗値下げがあるのではないかと。また、マスコミ等によって、家賃が下がる、景気が悪いことがPRされるから逆効果になってますます悪くなっていく。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている			
	変わらない	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・急激な円高の影響による輸入ワインの攻勢により、国産ワインは低コストものから高価格品まで幅広く苦戦を強いられている。
		出版・印刷・同 関連産業(営業 担当)	取引先の様子	・取引先は特に精密機械関係が良くないが、それでも仕事がやや出来てきている。先月当たりと比べると、いくらか良いが、同じくらいである。
		窯業・土石製品 製造業(経営 者)	取引先の様子	・特注品、店頭商品共に、受注状況に動きが無い。
		一般機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・4月は新しい期に入った客先が多いが、受注量が上向くような変化は無く、在庫調整のためゴールデンウィークの連休を増やす客先も多いため、当社も休日を増やし工場稼働を止めて対応する。
		その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・エアゾール缶、ガス缶、ライター処理装置等の大型装置の受注が7月以降は複数受けられると思うので、5～6月は少し寂しい。ただフロン回収機の受注は例年とあまり変わらず、全体のメンテナンスは増えていくので、昨年より大きく落ちることはない。
		輸送業(営業担 当)	取引先の様子	・取引先により、荷扱量の上下が出ている。特に生産財の工場投資関係は荷が落ち込んだが、ホームセンター等の消費財の荷扱量は増えている。前年並みに確保は出来ている。
		金融業(経営企 画担当)	取引先の様子	・特に製造業を中心に、依然として大手企業の生産、在庫調整の影響で受注減となっており、引き続き厳しい。
		金融業(調査担 当)	取引先の様子	・製造業の急速な在庫調整の一巡により、一部では生産は緩やかに増加する見込みであるが、引き続き低水準の状況は変わらず、停滞している。
	経営コンサル タント	取引先の様子	・年初の受注急減、販売不振といった状況が一段落した程度である。資金繰り困難を訴え、運転資金不足のために買掛金が支払えず仕入を断られたり、借入金の返済が滞っているところもまだ多い。	
	その他サービ ス[情報サー ビス](経営者)	受注価格や販売 価格の動き	・競争が激しくなり、価格が低下傾向にある。	
やや悪く なっている		電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・落ち込んだまま全く動きがない。ゴールデンウィークも休日を例年より2日増やしたが、さらに調整していかなければならない。毎月赤字状態で、社長の補てんでなんとか耐えている。
		輸送用機械器具 製造業(経営 者)	取引先の様子	・競争相手、取引先もほとんど仕事が減っている状況で、6月ごろから徐々に増える予定である。
		通信業(営業担 当)	受注量や販売量の動き	・取引先の販売量も減少傾向であり、集客に苦戦している。また、主要商品の販売量も競合会社との競争が激化しており、先が見えない。
		新聞販売店[広 告](総務担 当)	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は89%で、22か月連続して前年実績を下回っている。ゴールデンウィークを前にした出稿量も前年に及ばない。善光寺の御開帳で活況が予想されていたが、一部周辺とホテル以外は恩恵は少ない。混雑は前回以上といわれるが、団体客の減少や滞在時間が少ないこと等、経済効果は期待薄といったところである。
		社会保険労務士	取引先の様子	・製造業では受注残がないため、ゴールデンウィークを利用して長期休暇を取るところが多い。

悪く なっている	食料品製造業 (製造担当)	受注価格や販売 価格の動き	・価格が半分のものが県外から入ようになってきて いる。景気も悪く、減給の中で消費者が選ぶので致し 方ないが、この状態が続くと企業も体力を奪われ、ジ リ貧であることは間違いない。スーパー主導型の価格 競争では景気の回復はありえない。	
	化学工業(経営 者)	受注量や販売量 の動き	・4月は小口の出荷がいくつかあったが、当社49年の 歴史の中で初めて、100本単位の出荷が0件であっ た。100年に一度の不景気を実感している。	
	窯業・土石製品 製造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・取り巻く環境は大変厳しいものである。	
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・自動車は多少なりとも動きが始めているが、メイ ンの設備関係は全く動かずかなり厳しい。	
	電気機械器具製 造業(経営者)	受注量や販売量 の動き	・全般的な景気減速の影響から、取引先の主力製品の 売行きが悪く、当社の受注減の要因になっている。	
	輸送用機械器具 製造業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・4月の受注量については3か月前と比べてもまだ底 打ち感が出ていない。前年比でも30、40%近くの減産 となっているのでまだまだである。	
	その他製造業 [宝石・貴金 属](経営者)	受注量や販売量 の動き	・全くと言っていいほど売れない。卸商向けの展示会 をしてもバイヤーは様子見で来場するが購入意識はな い。売上は前年比50%減少で、売れるのは原価を切っ た特価品のみである。	
	建設業(総務担 当)	受注量や販売量 の動き	・4月の受注は前年比15.5%の受注金額であり大変厳 しい。公共工事削減の影響を受けている。	
	金融業(総務担 当)	取引先の様子	・今まで仕事を定期的にもらっていたところが回数を 減らしたり、安い他社に契約を変えたりして仕事が 減っている。	
	広告代理店(営 業担当)	受注量や販売量 の動き	・売上は前年比3割も落ちている。	
雇用 関連	良く なっている	-	-	
	やや良 くなっている	-	-	
	変わらない	人材派遣会社 (営業担当)	周辺企業の様子	・新規案件の受注がほとんどない。ネットや新聞広告 で派遣会社の案件を見ていると、時給が下がり気味で ある。
		職業安定所(職 員)	求職者数の動き	・3月の新規求職者数は前年比で13%の増加であつた が、その増加率は徐々に減速している。
		民間職業紹介機 関(経営者)	求人数の動き	・求人をけん引してきた製造業において、正社員の削 減が後を絶たず、現況が続くと今まで持ちこたえてき た会社がリストに踏み切る不安がある。
	やや悪 くなっている	人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・求人数は非常に少ない状態で推移している。募集内 容も飲食店、保育、介護関係が依然として目立つ。製 造についてはない。周辺企業の活発さが欠けてきてい る。住宅に関してはほぼゼロに等しい状態で推移して きている。
		求人情報誌製作 会社(経営者)	周辺企業の様子	・特に製造業が悪く、週休4日の企業がある。また希 望退職を募る企業が多い。求人広告で募集している企 業も少なく、前年比50%くらいになっている。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・平成21年3月の新規求人数は、前月に対して持ち直 したものの、引き続き前年比で減少となっている。
		学校[専門学 校](副校長)	求人数の動き	・求人社数、求人者数が県内、東京、埼玉方面共に前 年比約半分であり、昨年10月以降の求人状況が続いて いる。
	悪く なっている	人材派遣会社 (経営者)	周辺企業の様子	・前年の12月から採用してくれる会社は一つもない。 反対に引取りの話ばかりである。